

ハートマークだより



マークの由来

医療関連サービスには、高い技術の裏付けとともにそれを提供する人々の真心や愛情が必要です。この医療関連サービスマークは、2つのハートによってより良きサービスを築き上げていくために医療機関と医療関連サービス事業者がお互いの心を通い合わせingことを意味し、3つの丸印によって国民がそのサービスに支えられていることを表現しています。

2024.11
No.30

◆ 2024.10 認定審査における主な改善指導事項について

1. 認定概況

今回は、申請件数(新規)220(16)件のうち、認定は219(15)件、非認定1(1)件でした。

認定の内訳は、完全適合149(10)件、改善指導事項付62(4)件、条件付8(1)件となりました。

完全適合とは、改善指導事項が付されなかった認定をいい、改善指導事項付(条件付き含む。)とは、評価項目中に下位評価項目が付されたものです。

2. 主な改善指導事項

(1) 全業務共通

従事者研修体制

(研修体制未整備、
初任者・現任者カリキュラム未作成、
研修項目の欠落、
改善見直し検討の未実施・記録未作成)

初任者・現任者研修体制

(初任者・現任者研修の受講者欠落、
研修記録未作成、研修記録未保管、
修得状況評価の未実施)

健康管理体制

(健康管理未整備、
雇い入れ時健康診断・定期健康診断の受診者欠落)

自己評価実施体制

(自己評価未実施、評価記録の未作成、
評価改善検討未実施・検討結果の未作成)

(2) 業務別

① 在宅酸素療法における酸素供給装置の保守点検業務

・元請からの受託不十分
(元請先への記録提出・保管)

② 院外滅菌消毒業務

・消毒薬の保管、管理不十分
(有効期限の明記)

③ 院内滅菌消毒業務

・(化学的・理学的)滅菌済確認不十分
(設置数不足)
・(生物学的)滅菌済確認不十分
(設置数不足)

④ 寝具類洗濯業務

・健康管理体制不十分(定期健康診断)
(受診状況一部未受診)

⑤ 院内調理患者等給食業務

・初任者研修実施不十分
(修得状況評価未実施)

- ・現任者研修実施不十分

(修得状況評価未実施)

⑥院内清掃業務

- ・研修体制不十分

(体制改善見直し検討記録未作成)

- ・自己評価実施体制不十分

(改善検討未実施)

- ・業務案内書不備

(定期見直し未実施)

- ・標準作業書不備

(定期見直し未実施)

- ・薬品使用管理不十分

(消毒薬使用記録未作成、施錠管理不適正)

- ・健康管理体制未整備(雇用時)

健康診断(受診状況一部未実施)

- ・健康管理体制不十分(定期)

健康診断(受診状況一部未実施)

- ・清掃用具管理不十分

(定期点検不適正、用具一覧表未作成)

- ・定期清掃定期点検評価等体制未整備

- ・日常清掃定期点検評価等体制未整備

- ・受託責任者作業計画指導監督不十分

(評価改善指導未実施記録未作成)

医療関連サービスマークの認定について (令和6年10月1日認定分)

業務区分	申請件数		認定			延長 (認定)	非認定	審査継続	認定有効事業者等の 総数 [参考]							
			完全適合	改善指導付等	計											
在宅酸素療法における酸素供給装置の保守点検業務	18	(0)	13	(0)	5	(0)	18	(0)	0	(0)	0	(0)	178	(181)		
院外滅菌消毒業務 (※)	7	(0)	2	(0)	5	(0)	7	(0)	0	(0)	0	(0)	48	(48)		
寝具類洗濯業務 (※)	13	(1)	11	(1)	2	(0)	13	(1)	0	(0)	0	(0)	251	(251)		
院内調理患者等給食業務	15	(2)	6	(2)	9	(0)	15	(2)	0	(0)	0	(0)	158	(157)		
衛生検査所業務 (※)	10	(1)	9	(1)	1	(0)	10	(1)	0	(0)	0	(0)	106	(106)		
患者搬送業務	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	3	(3)		
院内清掃業務	119	(7)	77	(2)	41	(4)	118	(6)	0	(0)	1	(1)	0	(0)	1,390	(1,394)
医療用ガス供給設備の保守点検業務	32	(3)	26	(3)	6	(0)	32	(3)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	238	(238)
医療機器の保守点検業務	2	(0)	2	(0)	0	(0)	2	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	5	(6)
院内滅菌消毒業務	3	(1)	2	(0)	1	(1)	3	(1)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	35	(34)
院外調理患者等給食業務 (※)	1	(1)	1	(1)	0	(0)	1	(1)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	5	(4)
計	220	(16)	149	(10)	70	(5)	219	(15)	0	(0)	1	(1)	0	(0)	2,417	(2,422)

注1：上記表の数値は、事業者数(但し、(※)の業務は施設数)

注2：上記表の()内は新規再掲

注3：認定有効事業者等の総数[参考]欄の()内数字は令和6年6月1日付認定有効数

◆ 「Good Job! コーナー」 「こんなに頑張ってます！」

株式会社国際ビル産業 営業部次長 榮山 晃平



弊社は、沖縄県浦添市に本社を構え、1967年に創立し、今年11月には58年目を迎えます。従業員数は1,300名を超える企業へと成長しました。

創業以来、県内建物管理業をリードする企業として、お客様のあらゆるニーズに対応し、清掃・設備管理から一般

建設・工事・建物点検、常駐・機械警備・ホームセキュリティまで、ワンストップサービスによる高品質なサービスを提供してまいりました。

地球環境を守るSDGsへの取り組みや、沖縄県障害者雇用推進企業としての登録など、社会貢献活動にも積極的に取り組んでおります。

弊社では、昭和63年4月に医療関連サービスマークを取得以来、医療関連サービス振興会が定める認定基準を満たし、受託病院施設の適正かつ厳正な業務を行っております。

また、弊社従業員の感染対策にも力を注いでお

り、感染管理認定看護師の方を社員として採用し、各事業所へ感染対策勉強会を定期的を実施して、従業員が日々の業務で安全に働けるよう環境を整えております。

コロナ禍におきましては、感染制御衛生管理士講習会に2名参加、資格を取得後は、社内に感染制御専門部隊ICT(インфекションコントロールチーム)を立上げ、いち早く病院施設における感染病棟・病室の清掃を再開させ、病院スタッフ様と一丸となってコロナウイルスの感染拡大防止に努めてまいりました。

昨年5月にコロナウイルスが5類に移行した現在も感染は続いており、引き続き細心の注意を払いながら業務に取り組んでおります。

最後に、当社の経営理念には三つの行動指針を掲げており、その中の一つに「我が企業は、現場第一線で誠実に働く従業員の皆様を財産とし、常に大切にいたします。」とあり、従業員一人ひとりが誇りを持って働き、従業員とその家族が幸せを共有できる職場環境作りを目指しています。

100年企業を目標に従業員と共に、日々努力を重ね邁進してまいりますので、今後とも宜しく願いたします。

◆ 医療現場からの声

医療法人財団寿康会 寿康会病院 院長 石津 和洋



1963年に開設された寿康会病院は東京都江東区砂町地区の医療を担って61年になります。1992年に現在の49床の姿となり地域医療に尽力しております。

当初は整形外科・一般消化器外科の手術も含め急性期～慢性期を幅広く対応する

病院として尽力しておりました。しかしながらその後の医療制度の変化、地域医療構想の時代の流れとともに病院の役割が変わり、亜急性期病床時代を経て2018年からは全49床地域包括ケア病床の病院として地域医療の一翼を担っております。急性期病院から在宅への橋渡しとしてリハビリテーション・在宅復帰支援を行うことや、在宅からあるいは高齢者施設からの一時的入院加療・介護サービス再調整の準備などを主な役割としております。また法人としては病院のほか、診療所・健診センター、訪問看護ステーション、地域包括支援セン

ターがあり、地域医療構想に包括的に対応できる体制を有しております。

新型コロナウイルス感染症流行拡大の時期には、可能な範囲での発熱外来対応を行い、土曜日の診療時間外に枠を設けワクチン接種をできる限り行いました。また、急性期病院で治療期間の終了した新型コロナ感染症の患者様を後方病院として受け入れ、退院支援を行いました。あるいは関連の特別養護老人ホームや近隣の介護老人保健施設などから新型コロナに感染した入居者様を受け入れ入院加療を行いました。

現在当院では、衛生検査所業務・院内調理患者等給食業務・在宅酸素療法における酸素供給装置の保守点検業務・医療用ガス供給設備の保守点検業務・寝具類洗濯業務・院内清掃業務を医療関連サービスマーク認定業者に委託しております。病院の特性上、入院患者様のほとんどが介護を有する高齢者であり、その移動・排泄・食事・更衣・洗面・入浴などの日常生活動作や治療の程度は多岐にわたります。委託業者の皆様にはこのような幅広い状況に対応していただき大変感謝しております。今後も良質な入院生活環境が維持できるよう努力していく所存です。

トピックス

●「第34回シンポジウム」を開催します。／(一財)医療関連サービス振興会

1. テーマ

これからの医療と医療関連サービスを考える

2. 開催主旨及び目的

2025年は、約800万人いるとされる「団塊の世代」(1947年～1949年生まれ)が75歳以上となり、後期高齢者として迎えられます。内閣府の試算では、日本の国民の3人に1人が65歳以上の高齢者に、また5人に1人が75歳以上の後期高齢者になるとされています。

一方、少子化の傾向も続き、日本の総人口に占める子供の割合は2023年4月現在で約11%と、49年連続で減少しているとされています。これにより、労働者人口は減少し、労働者や事業の後継者の不足、採用の激化が進むとともに社会保障の負担がますます増加する等、社会全体でさまざまな問題を抱えることとなります。

本シンポジウムでは、この問題に直面する医療と医療関連サービスの対応と今後のあり方等について展望します。

3. 日時

令和7年2月7日(金)13時～16時30分

4. 会場

サントリーホール「ブルーローズ」／東京都港区赤坂1-13-1

5. 定員

会場参加者数100名(オンライン配信あり(予定))

※詳細は12月目途に当振興会のHPに掲載します。(https://ikss.net/)

今後のスケジュール等

<令和6年11月>

26日(火) 「第296回月例セミナー」

テーマ：中小企業の本音で考える人材育成と人材確保

講師：杉田 一真氏

産業能率大学 経営学部 教授

会場：日比谷コンベンションホール

20日(月) 医療用ガス供給設備の保守点検部会

審議事項：第90回認定審査

21日(火) 在宅酸素供給装置の保守点検部会

審議事項：第104回認定審査

22日(水) 衛生検査所専門部会

審議事項：第91回認定審査

28日(火) 評価認定制度委員会

審議事項：医療関連サービスマーク認定に係る審査

<令和6年12月>

10日(火) 「第297回月例セミナー」

テーマ：ロボット技術によって、医療関連サービスはどのように変わっていくか

講師：寺田 信幸氏

東洋大学 常務理事 名誉教授

会場：日比谷コンベンションホール

30日(木) 「第298回月例セミナー」

テーマ：(仮題)医療分野における意思決定：予測、根拠、評価

講師：田倉 智之氏

日本大学医学部 社会医学系

医療管理学分野 主任教授

会場：日比谷コンベンションホール

<令和7年1月>

10日(金) 衛生検査所調査指導中央委員会

審議事項：第91回認定基本審査

15日(水) 寝具類洗濯部会

審議事項：第102回認定審査

滅菌消毒部会

審議事項：第95回認定審査(院外滅菌消毒)

第54回認定審査(院内滅菌消毒)

16日(木) 患者等給食部会

審議事項：第96回認定審査(院内患者等給食)

第111回認定審査(院外患者等給食)

院内清掃部会

審議事項：第92回認定審査

【医療関連サービスマーク令和7年6月1日認定の申請書類受付期間】

提出先等は当会ホームページ

(https://ikss.net/acquire/shinsei/)をご参照下さい。

令和7年1月6日(月)～20日(月)

衛生検査所業務

令和7年1月16日(木)～31日(金)

在宅酸素療法における酸素供給装置の保守点検業務、寝具類洗濯業務、院内調理患者等給食業務、院外調理患者等給食業務、医療用ガス供給設備の保守点検業務、院内清掃業務、院外滅菌消毒業務、院内滅菌消毒業務、患者搬送業務、医療機器の保守点検業務

ハートマークだより

発行：一般財団法人医療関連サービス振興会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 第二フナトビル3F

TEL：03-3238-1861 FAX：03-3238-1865

URL：https://ikss.net/